

小石だより



令和6年12月5日 (文責) 校長 牛尾 直樹

学校教育目標

美しい心にあふれ、かしこく、たくましく生きる子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

- <こ> 向上心にあふれる、たくましい子ども
- <い> いつも明るく、美しい心の子ども
- <し> しっかり学び、かしこい子ども

冬到来！寒さに負けない元気な体を！

今年の猛暑がウソのように、一気に冬に突入してしまいました。日本の四季など、どこ吹く風。「今年は秋ってあったっけ?」と思わされるようにひといきに冬が来たような気がします。

あれだけ世界を騒がせた新型コロナウイルス、一時は鳴りを潜めたものの、またもや変異体が静かに広がりを見せつつあるそうです。さらに、若松区内のいくつかの学校ではインフルエンザによる学級閉鎖も増えつつあります。福岡県内だけを見ても、RS ウイルス、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎なども感染拡大の兆候を見せ始めており、中でも「感染性胃腸炎」が静かに増え続けているのが気にかかります。いわゆる、嘔吐や下痢症状を伴うもので、乳児や高齢者にとっては生命の危険さえ伴うものです。

そもそも寒冷期は空気が乾燥し、細菌やウイルスを含んだ飛沫が空気中に漂いやすく、その分感染拡大の危険性が高まります。飛沫による空気感染以外では、ウイルスや菌が手指から体内に入るものが多く、水が冷たくなるのと比例して、手洗いやうがいの頻度が減ることも、感染拡大の追い風になります。

教室においても、特に手洗いを推奨し、校内での感染拡大を防いでいきたいと考えています。ご家庭でも、ぜひ手洗いを徹底していただきたいと思います。また、感染しても発症させない体力づくりも重要です。いわゆる「免疫力」を高めるため、しっかりと栄養を取ること、睡眠時間をきちんと確保し、規則正しい生活をするのが挙げられます。感染症にかかって苦しむ子供たちを一人でも減らすため、ご家庭のご協力をお願いいたします。

人権について考えてみませんか？

12月4日から10日までの1週間は、法務省が定める「人権週間」と位置付けられています。本校では、同週間の取り組みとして、人権についての校長からの話、北九州市が作成した人権についての放送「明日への伝言板」の給食時間を使った聴取を行っています。

世界を見回すと、解決すべき人権問題は多数にのぼります。小石小学校では、将来、正しい人権感覚と行動力を持った人材の育成を目指し、日ごろから様々な場面での指導を行っています。

しかし、1年生(6歳児)から6年生(12歳児)までがそろろう中で、「人権」という概念を理解させるのは、実際、至難の業です。当たり前のことですが、発達段階によって理解できることの限界があるからです。

そこで、「人権」という概念が生まれてくる前には、人が人として扱われない悲しい歴史があったこと、肌の色、信じるもの、貧しさ、身分の違い、住む場所の違いで、同じ人として扱われず、場合によっては命さえ奪われることもあったことを伝えました。現代でも、障害の有無、男女の違い、考え方の違いや言葉の違い、年齢の違いなど、差別を生む要素がいくつもあるが、そこで生じてくる差別に立ち向かえる大人になってほしいということを伝えていきます。

また、クラスの中においても、いろいろなことがうまくできる人もいればなかなかうまくできない人もいること。そうした人々に対し、うまくできないことを責め立てるのではなく、その人のいいところを認めてほめてあげられる人になってほしいこと、そして、それぞれの持ち味を生かして、暖かくて居心地のいいクラスにしておくことの大切さを伝えていきます。

そんな子供たちを育てるには、大人がモデルとして、「あなたのことをとても大事に思ってるよ。」という気持ちを、言葉や行動で見せていくことが、人権を考える上で最も大切なことかもしれませんね。

12月行事予定

- 5日(木) クラブ委員会反省会
- 6日(金) 地域合同防災訓練(5・6年)
- 9日(月) 薬物乱用防止教室(5・6年)
- 13日(金) 英検 ESG 実施(6年)
- 17日(火) 4年ウエルクラブ活動(4回目)
個人懇談会(1日目)
- 18日(水) 個人懇談会(2日目)
- 20日(金) 社会見学(5年) ※給食最終日
- 23日(月) 終業式

● 26・27日 閉庁日